



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

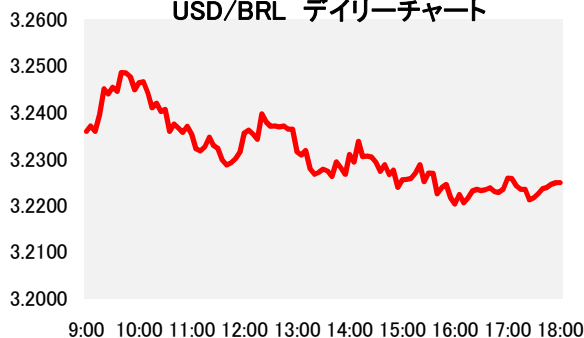
			8月18日	8月19日	8月22日	8月23日	8月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2390	3.2050	3.2000	3.2350	3.2240	-0.0110
	BRL/JPY	Spot	30.84	31.26	31.34	30.99	31.14	+0.15
	EUR/USD	Spot	1.1351	1.1326	1.1321	1.1306	1.1265	-0.0041
	USD/JPY	Spot	99.89	100.21	100.32	100.24	100.42	+0.18
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.848	13.824	13.822	13.822	13.832	+0.010
	Future	1Year(p.a.)	13.183	13.137	13.120	13.118	13.097	-0.021
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.100	2.083	1.999	2.097	2.230	+0.133
	USD	1Year(p.a.)	2.263	2.250	2.194	2.222	2.272	+0.050
株式	Bovespa指数		59166	59099	57781	58020	57718	-302
CDS	CDS Brazil 5y		251.76	253.00	254.53	254.88	260.39	+5.51
商品	CRB指数		189.339	188.780	187.081	188.375	185.746	-2.63

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV消費者信頼感	--	79.3	76.7
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.46%	0.45%	0.54%
IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	8.97%	8.95%	8.93%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-2.1%	-4.0%
(米)FHFA住宅価格指数(前月比)	0.3%	0.2%	0.2%
(米)中古住宅販売件数	5.51m	5.39m	5.57m

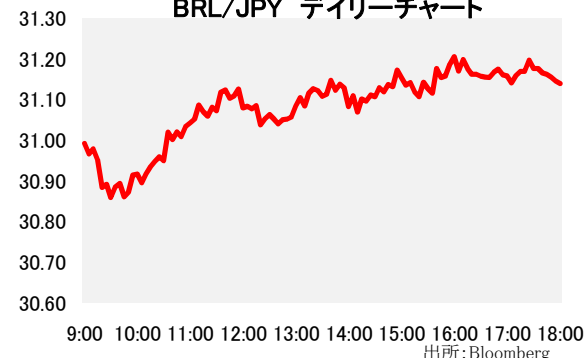
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	ブラジルは世界で最も税負担の高い国の一つになっている。現時点で増税は考えていない。ブラジルのインフレ率は依然として高い水準にある。
----------	---

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2420で寄り付いた。朝方には伯中銀のドル買い介入を受けて日中安値の3.2490を示現するも、明日から始まる上院での大統領弾劾最終採決を控えてレアルの下値を追う動きは限定的だった。原油安でボベスパ指数は下落したが、レアルはイベントを前にレアルを買い戻す動きが優勢で日中高値3.2190までじり高の展開。結局3.2250でクロース。
- 9月にアルジェで開かれるOPECの非公式会議にイラン石油相が出席しない可能性が出てきたことや、米国の原油在庫が予想外に増加したことを受けて原油価格が反落。WTI先物は一時46ドル台半ばまで下落した。ボベスパ指数は資源株主導で約2週間ぶりの水準まで下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくご留意申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。